《研究課題名》

小児 ^{99m}Tc-DMSA シンチグラフィ検査における収集カウントに基づいた検査プロトコールの有用性の検討

《研究対象者》

2019 年 8 月 1 日～2021 年 8 月 31 日の期間内に滋賀医科大学附属病院放射線部において ^{99m}Tc-DMSA シンチグラフィ検査を施行された小児患者(0 歳～20 歳)の方

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方又はその保護者の方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

小児 ^{99m}Tc-DMSA シンチグラフィ検査における収集カウントに基づいた検査プロトコールの有用性の検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2022 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学　放射線部　大橋昂平

（２）研究の意義、目的について

《意義》

核医学検査で得られる画像の画質は放射性医薬品投与量や収集条件(収集時間等)に大きく影響を受けます。これらの設定が十分でないと診断能を著しく低下させる恐れがあります。特に小児における検査では、成人に比べ投与量が少ないことからその収集条件は慎重に決定する必要があります。放射線医薬品の投与量に関してはガイドラインによりある程度最適化・標準化がされていますが、収集条件に関しては検討の余地が残る現状です。本研究の目的は小児 ^{99m}Tc－DMSA シンチグラフィ検査における最適な検査プロトコールを検討することであり、本研究の成果によって最適な収集条件が明らかになると共に国内における同検査の標準化に資する情報となりうると考えています。

《目的》

小児 ^{99m}Tc－DMSA シンチグラフィ検査における最適な検査プロトコールを検討します。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

収集時間を基準にしたプロトコールによって得られた画像と収集カウントを基準にしたプロトコールによって得られた画像の摂取率・総カウント・画質評価指標を算出し、比較します。

《利用する情報の項目》

・背景情報：年齢、性別

・身体情報：身長、体重

・検査情報：^{99m}Tc-DMSA シンチグラフィ画像、放射線医薬品投与量、検査所見、検査目的

《情報の管理について責任を有する者》

所属：放射線部　氏名：大橋昂平

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　放射線部　大橋昂平

住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2655

メールアドレス： kohashi@belle.shiga-med.ac.jp

©2016　Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.